

令和4年度
中学校各教科等担当指導主事連絡協議会・行政説明2

中学校道徳教育における カリキュラム・マネジメント

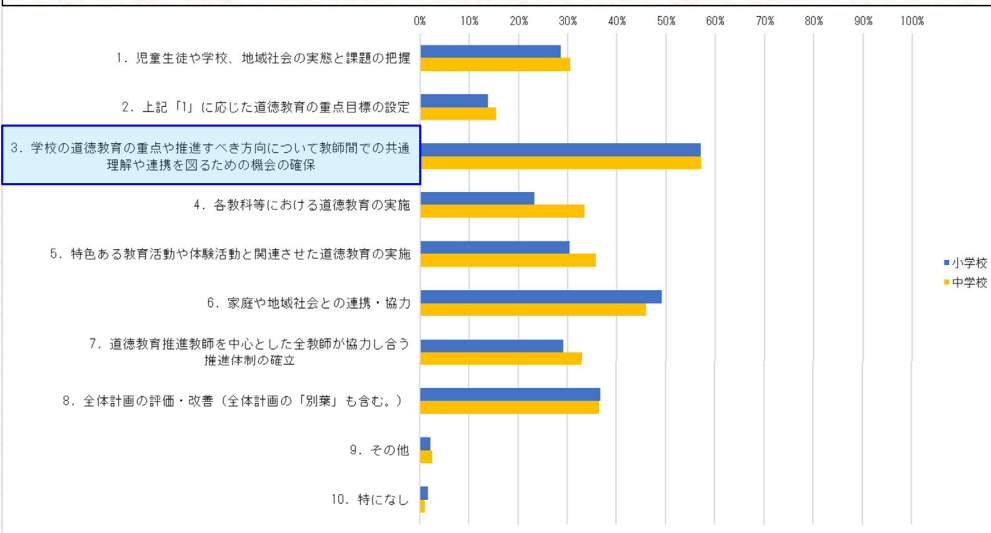
文部科学省初等中等教育局教育課程課
教科調査官 飯塚 秀彦

- 1 道徳教育の軸
- 2 指導体制の充実
- 3 家庭・地域との連携
- 4 校長のリーダーシップ

1 道徳教育の軸

3

【設問3】道徳教育を推進する上での課題（複数回答可）



1 道徳教育の軸

4

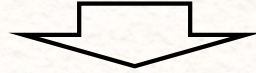
3. 学校の道徳教育の重点や推進すべき方向について
教師間での共通理解や連携を図るための機会の確保

教師間での共通理解

- 道徳教育で育成をめざす生徒像
- 重点とする内容項目

ある中学校の学校教育目標

- 豊かな感性
- 確かな知性
- あふれる意欲

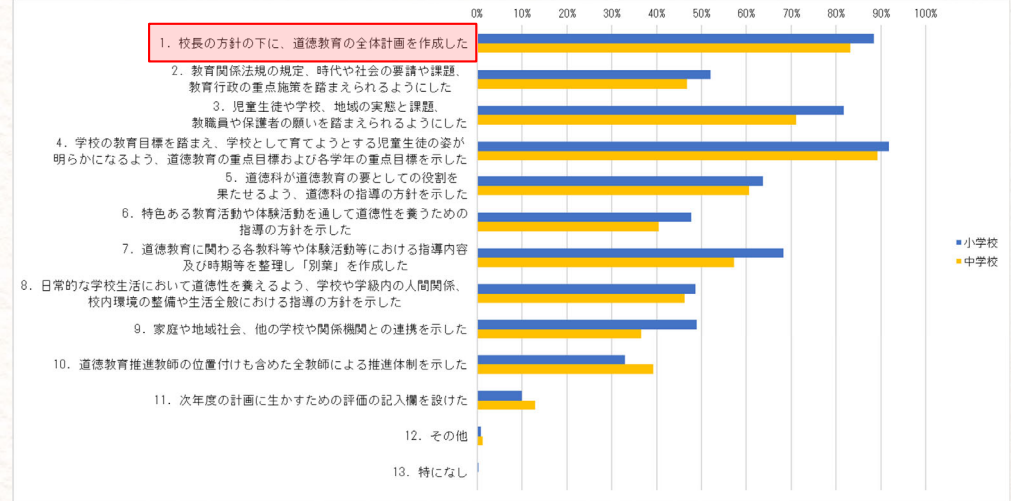


**道徳教育を通して育成をめざす
具体的な生徒の姿**

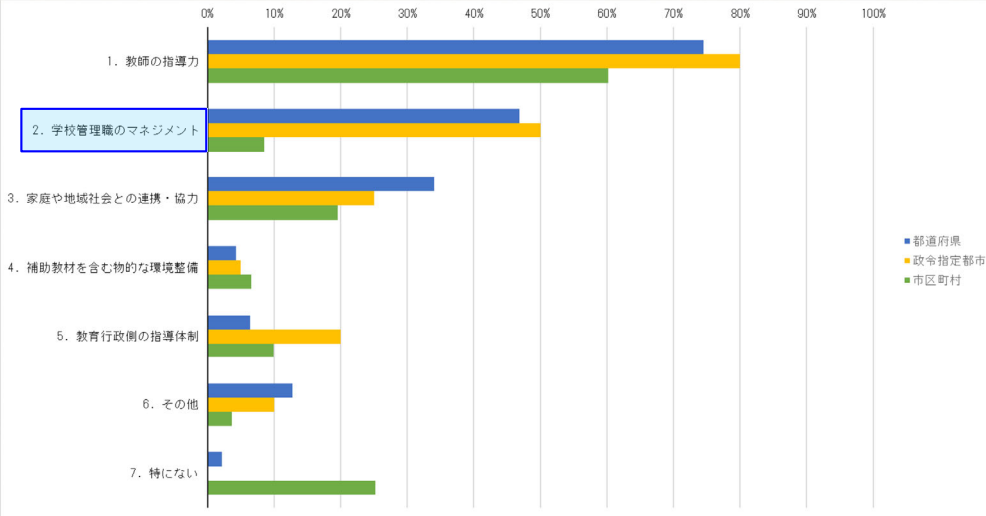


重点とする内容項目

【設問1】道徳教育の全体計画作成に当たり留意した点（複数回答可）



【設問2-①】道徳教育のさらなる充実のために特に課題となっていること（複数回答）



**3. 学校の道徳教育の重点や推進すべき方向について
教師間での共通理解や連携を図るための機会の確保**

教師間での共通理解

- 生徒の実態・課題の把握
- 評価の視点

道徳教育を通して育成をめざす 具体的な生徒の姿を視点として

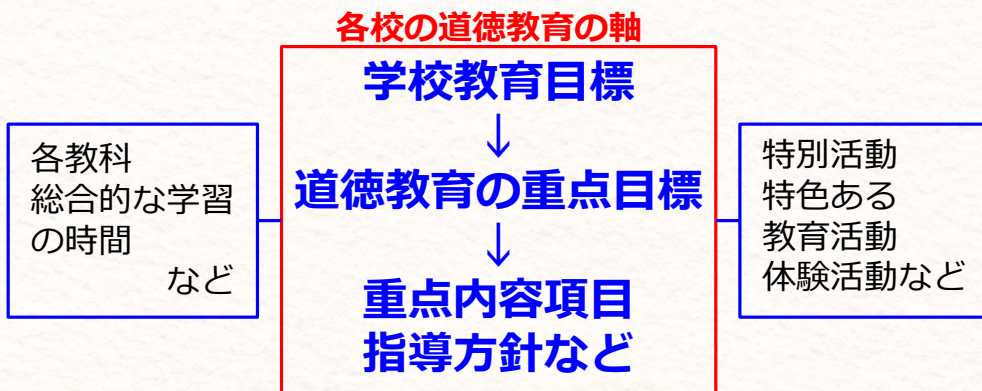
- ☑ 生徒の実態・課題の把握
- ☑ 評価の視点
 - 授業では？
 - 行事では？
 - 休み時間や放課後では？
 - 部活動では？
 - 家庭では？

**具体的
姿で**

3. 学校の道徳教育の重点や推進すべき方向について
教師間での共通理解や連携を図るための機会の確保

教師間での共通理解

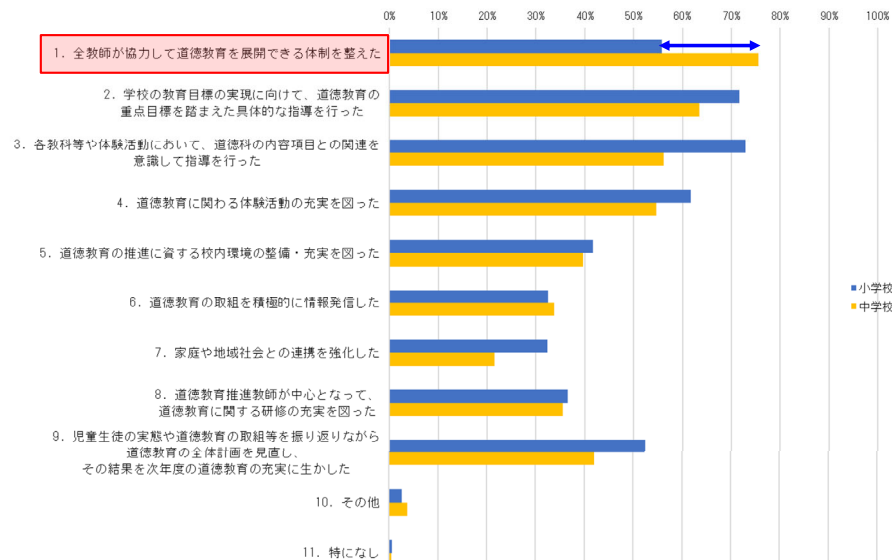
- ☑ 道徳教育で育成をめざす生徒像
- ☑ 重点とする内容項目
- ☑ 生徒の実態・課題の把握
- ☑ 評価の視点



小学校とのつながりにも目配りを

- 1 道徳教育の軸
- 2 指導体制の充実
- 3 家庭・地域との連携
- 4 校長のリーダーシップ

【設問2】 道徳教育の充実のために学校として行った取組（複数回答可）



『中学校学習指導要領』 第1章第6の1

- 1 各学校においては、第1の2の(2)に示す道徳教育の目標を踏まえ、道徳教育の全体計画を作成し、校長の方針の下に、道徳教育の推進を主に担当する教師（以下「道徳教育推進教師」という。）を中心に、全教師が協力して道徳教育を展開すること。

『領解説 総則編』（p.131～）

(ア) 道徳教育推進教師の役割

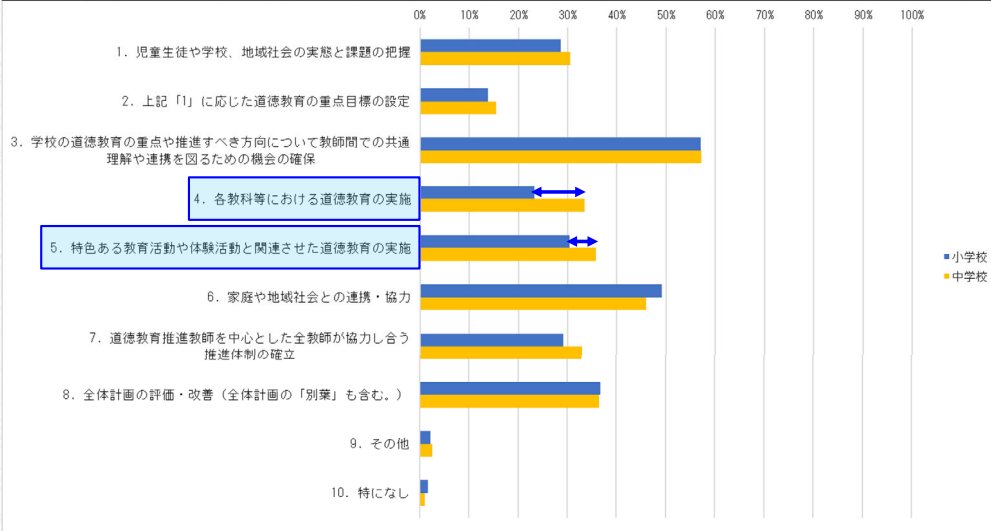
また、各教師がそれぞれの役割を自覚しその役割を進んで果たす上でも、機能的な協力体制を整えることは重要である。なお、**道徳教育推進教師については、その職務の内容に鑑み、校長が適切に任命するとともに、学校の実態に応じて人数等に工夫を加えるなどの創意工夫した対応が求められる。**さらに、道徳教育推進教師の研修や近隣の学校の道徳教育推進教師との連携等も積極的に進め、道徳教育の充実に努めることが大切である。

『解説 総則編』（p.131～）

(イ) 協力体制の充実

学校が組織体として一体となって道徳教育を進めるためには、**校長の明確な方針**と道徳教育推進教師等の役割の明確化とともに、全教師が指導力を発揮し、協力して道徳教育を展開できる体制を整える必要がある。例えば、**家庭や地域社会との連携など、道徳教育を推進する上での課題にあわせた組織**を設けたり、**各学年段階や校務分掌ごとに分かれて推進するための体制**をつくったりするなど、学校の実態に応じて全教師が積極的に関わることができる**機能的な協力体制を整えることが大切**である。

【設問3】道徳教育を推進する上での課題（複数回答可）



『解説 総則編』（p.136～）

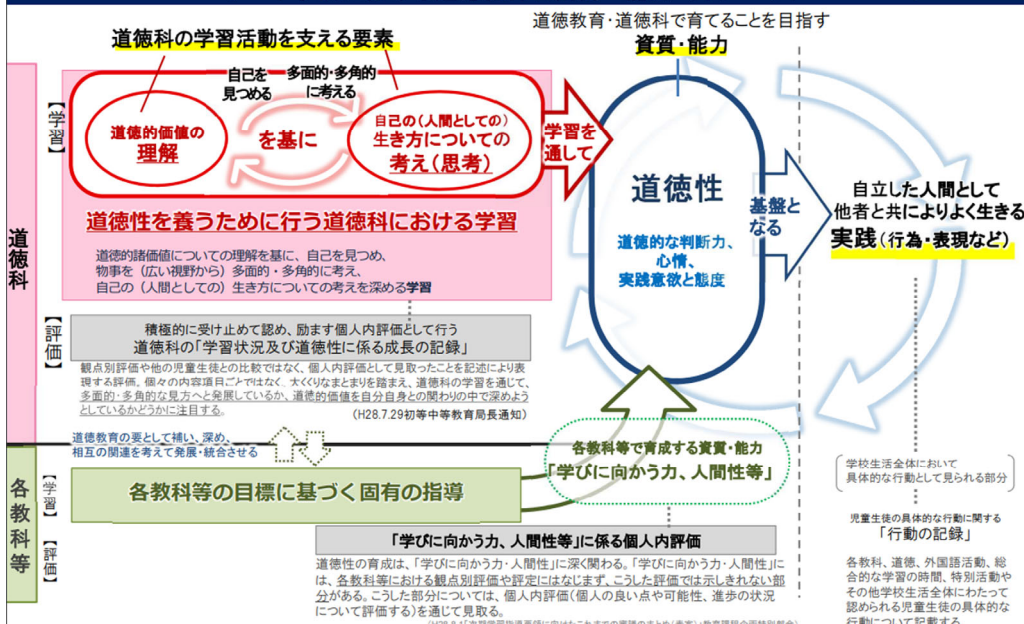
(3) 各教科等における指導の基本方針

学校における道徳教育は、道徳科を要として学校の教育活動全体を通じて行われる。

各教科等でどのように道徳教育を行うかについては、学校の創意工夫によるところであるが、**各教科等は、各教科等の目標に基づいてそれぞれに固有の指導を充実させる過程で、道徳性が育まれることを考え、見直しをもって指導することが重要**である。

小・中学校における道徳教育と資質・能力（イメージ）

別添16-2



『解説 総則編』（p.136～）

(3) 各教科等における指導の基本方針

各教科等の指導を通じて生徒の道徳性を養うためには、**教師の用いる言葉や生徒への接し方、授業に望む姿勢や熱意といった教師の態度や行動による感化**とともに、次のような視点が挙げられる。

ア 道徳教育と各教科等の目標、内容及び教材との関わり

各教科等の目標や内容には、生徒の道徳性を養うことに関わりの深い事柄が含まれている。(…中略…) それらに含まれる道徳的価値を意識しながら、**学校独自の重点内容項目を踏まえて指導することにより、道徳教育の効果も一層高めることができる。**

《別葉》

内容項目	国語	...	数学	...	学校行事
自主, 自立 自由と責任	○○○○○		○○○○○		○○○○○
...	○○○○○		○○○○○		○○○○○
思いやり 感謝	○○○○○		○○○○○		○○○○○
...	○○○○○		○○○○○		○○○○○
遵法精神 公德心	○○○○○		○○○○○		○○○○○
...	○○○○○		○○○○○		○○○○○
生命の尊さ	○○○○○		○○○○○		○○○○○

《別葉》

内容項目	国語	...	数学	...	学校行事
自主, 自立 自由と責任					
...					
思いやり 感謝	○○○○○		○○○○○		○○○○○
...					
遵法精神 公德心					
...					
生命の尊さ	○○○○○		○○○○○		○○○○○

詰め込み過ぎない
→**重点内容項目に力点を置く**

『解説 総則編』 p.136～

(3) 各教科等における指導の基本方針

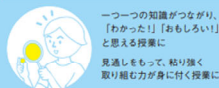
イ 学習活動や学習態度への配慮

各教科等では、それぞれの授業を通して、学習態度や学習習慣が育てられていく。その視点から、**生徒が学習に興味・関心をもち、積極的に取り組む工夫をすることや、相互に学び合う思いやりのある協力的な雰囲気や人間関係をつくるように配慮することは、学習効果を高めるとともに、望ましい道徳性を養うことにつながる。**



「生きる力」を育むために
子供たちの学びはどう進化するのが？

主体的・対話的で深い学び
(アクティブ・ラーニング)



一つ一つの知識がつながり、「わかった」「おもしろい」と思える授業に
見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業に

周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業に
自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業に

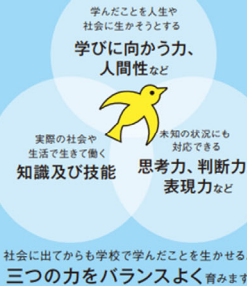
カリキュラム・マネジメント



学校教育の効果を常に検証して改善する

教師が連携し、複数の教科等の連携を図りながら授業をつくる

地域と連携し、よりよい学校教育を目指す



社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、**三つの力をバランスよく育みます。**

主体的・対話的で深い学び の視点から「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視して授業を改善します。
(アクティブ・ラーニング)



一つ一つの知識がつながり、「わかった!」「おもしろい!」と思える授業に

見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業に

望ましい道徳性を養うことにつながる



周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業に

自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業に

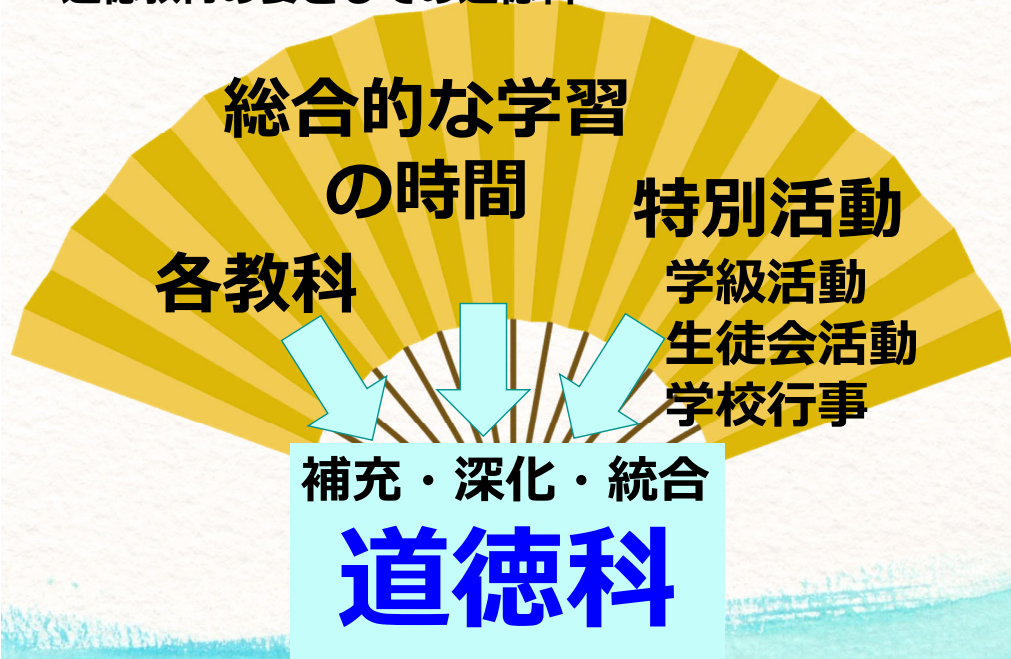
『解説 総則編』(p.136~)

(3) 各教科等における指導の基本方針

イ 学習活動や学習態度への配慮

なお、道徳性を養うための指導方法の一つとして、**道徳的習慣をはじめ道徳的行為に関する指導を行うことも重要**である。例えば、学校教育の様々な場面において、具体的な道徳的習慣や道徳的行為についての指導を行うことがあるが、その際、**最終的なねらいとしているのは、指導を通じてその意義を理解し、自らの判断により、進んで適切な実践ができる資質・能力を育てることである。**

➤ 道徳教育の要としての道徳科



『解説 特別の教科 道徳編』(p.89~)

(2) 学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要としての道徳科

生徒は、各教科等においてそれぞれの特質に応じて道徳性を養うための学習を行うが、**各教科等の指導には各教科等に特有のねらいがあることから、その中では道徳的価値の意味などについて必ずしもじっくりと考え、深めることができているとは限らない**。それらの指導の中に含まれる道徳教育が、道徳性を養うためにはとかく断片的であったり徹底を欠いたりするのは避けられないことでもある。

『解説 特別の教科 道徳編』(p.89～)

(2) 学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要としての道徳科

このことを生徒の立場から見ると、**道徳科は**、各教科、総合的な学習の時間及び特別活動などで学習した**道徳的諸価値を、全体にわたって人間としての在り方や生き方という視点から捉え直し、自分のこととして理解し、自分との関わりで道徳的諸価値を捉え、自分なりに発展させていこうとする時間**ということになる。

学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の指導の充実が、道徳科の指導の充実につながることを意味を深く理解し、**道徳科ではその要としての重要な役割を認識して、計画的・発展的な指導を行うようにしなければならない。**

〈ローテーション授業〉

『解説 特別の教科 道徳編』p.114～

(3) 評価のための具体的な工夫

さらに、年に数回、教師が交代で学年の全学級を回って道徳の授業を行うといった取組も効果的である。このことは、**教師が自分の専門教科など、得意分野に引きつけて道徳科の授業を展開することができる。**

自身の担当する教科で扱う目標、内容等に含まれる道徳的価値を深めるという視点で道徳科の指導を行う。

〈ローテーション授業〉

『解説 特別の教科 道徳編』p.114～

(3) 評価のための具体的な工夫

さらに、年に数回、教師が交代で学年の全学級を回って道徳の授業を行うといった取組も効果的である。

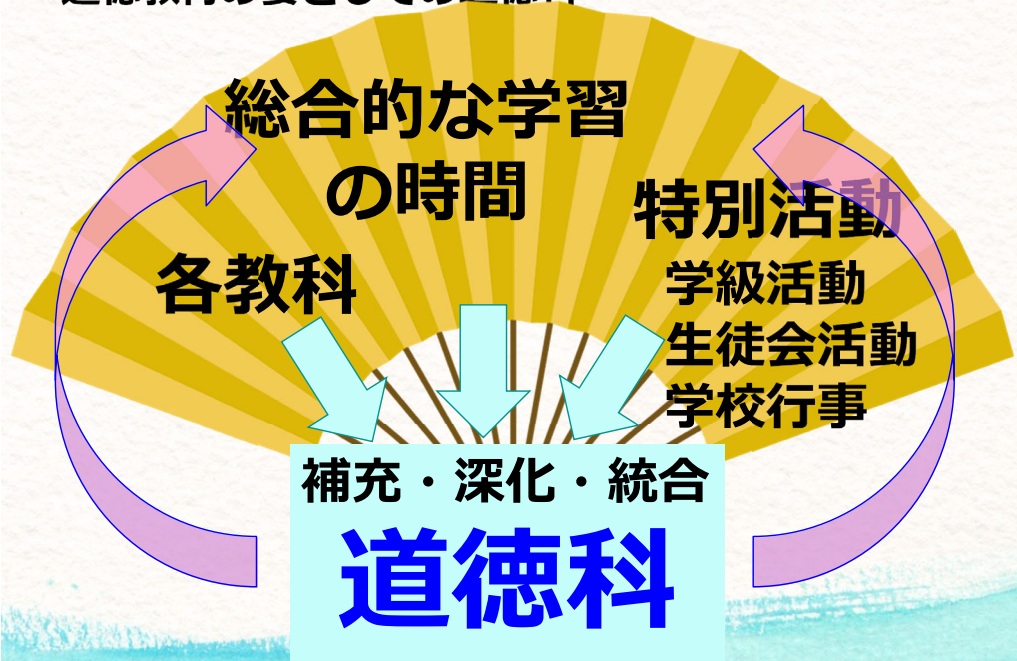
また、何度も同じ教材で授業を行うことにより指導力の向上につながるという指導面からの利点とともに、学級担任が自分の学級の授業を参観することが可能となり、普段の授業とは違う角度から生徒の新たな一面を発見することができるなど、生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子をより多面的・多角的に把握することができるといった評価の改善の観点からも有効であると考えられる。

《別葉》

内容項目	国語	…	数学	…	学校行事
自主、自立 自由と責任					
…					
思いやり 感謝	○○○○○		○○○○○		○○○○○
…					
遵法精神 公德心					
…					
生命の尊さ	○○○○○		○○○○○		○○○○○

教科等と道徳科の往還→「深い学び」

➤ 道徳教育の要としての道徳科



- 1 道徳教育の軸
- 2 指導体制の充実
- 3 家庭・地域との連携
- 4 校長のリーダーシップ

『中学校学習指導要領』第1章第6の4

4 学校の道徳教育の全体計画や道徳教育に関する諸活動などの情報を積極的に公表したり、道徳教育の充実のために家庭や地域の人々の積極的な参加や協力を得たりするなど、家庭や地域社会との共通理解を深め、相互の連携を図ること。



学校で学んだことが、子供たちの「生きる力」となって、
明日に、そしてその先の人生につながってほしい。

これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、
自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、
それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。

そして、明るい未来を、共に創っていききたい。

2020年度から始まる新しい「^{がくしゅうしどうようりょう}学習指導要領」には、
そうした願いが込められています。



学校で学んだことが、子供たちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。

これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。

そして、明るい未来を、共に創っていきたい。

2020年度から始まる新しい「学習指導要領」には、そうした願いが込められています。



目指すのは の実現

保護者の皆さまや地域の皆さまのお力添えをいただきながら、
よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を達成していきます。

『解説 総則編』 p.147～

(2) 家庭や地域社会との相互連携

道徳教育の主体は学校であるが、学校の道徳教育の充実を図るためには、家庭や地域社会との連携、協力が必要である。学校の道徳教育に関わる情報発信と併せて、学校の実態に応じて相互交流の場を設定することが望まれる。(…中略…)

また、**学校運営協議会制度などを活用して、学校での道徳教育の成果について話し合うことや、それらを学校評価に生かし道徳教育の改善を図るとともに、学校が家庭や地域社会と連携する方法を検討することも考えられる。**さらに、学校、家庭、地域社会が連携した道徳教育が充実することで、保護者や地域住民の道徳教育に関わる意識が高まることも期待できる。

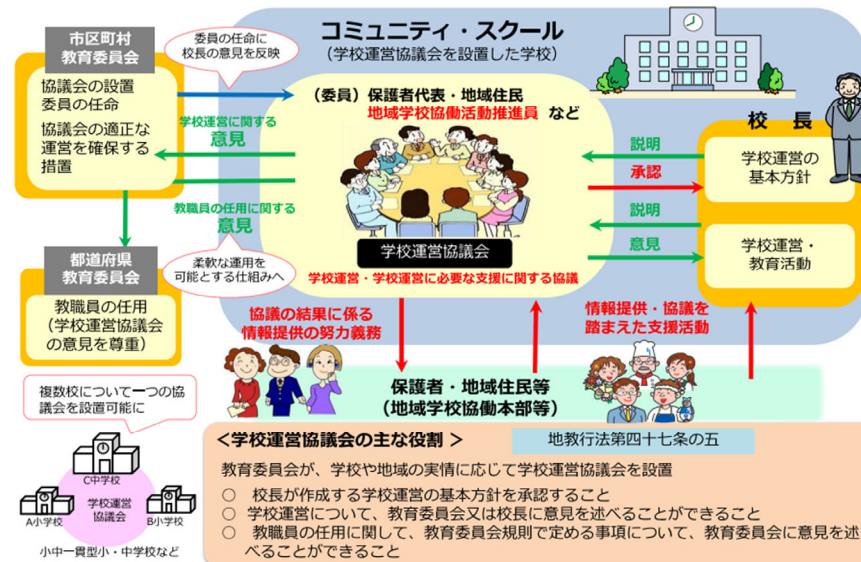
『解説 総則編』 (p.147～)

(1) 道徳教育に関わる情報発信

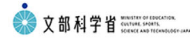
学校で行う道徳教育は、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標として行われる。このような**道徳性は学校生活だけに限られたものではなく、家庭や地域社会においても、生徒の具体的な行動を支える内面的な資質である。**(…中略…)

道徳教育は学校が主体的に行う教育活動であることから、**学校が道徳教育の方針を家庭や地域社会に伝え、理解と協力を得るようにしなければならない。**

コミュニティ・スクールの仕組み (制度概要)



学校と地域でつくる
学びの未来
School Home Community



文字 標準 拡大 背景色 標準 黒 青

よくある質問 ▶ 初めての方へ ▶ サイトマップ ▶ SNS ▶ お問い合わせ 検索

自治体の方 | 学校教職員の方 | 地域学校協働活動推進員 (コーディネーター)の方 | 保護者・地域の方 | 企業・団体の方

ホーム | 国の取組 | 全国を取組事例 | 企業等による教育プログラム | 関連資料・パンフレット

自治体の方へ

未来の地域・社会を創る子供たちを育む
「地域とともにある学校」の実現に向けて
学校・家庭・地域が連携・協働できる体制づくりをしましょう。

詳しくはこちら ▶



未来を担う子供たちの豊かな学びや成長を支えるためには、地域と学校がパートナーとして連携・協働することが重要です。本サイトでは、国の取り組み、地域と学校が連携・協働した事例、企業・団体・大学等の方と学校が協働するためのツール、イベントの情報等を掲載しています。

コミュニティ・スクールの在り方等に関する検討会議
「コミュニティ・スクールの在り方等に関する検討会議 最終まとめ」(令和4年3月14日)

○コミュニティ・スクール導入により校長が感じている成果

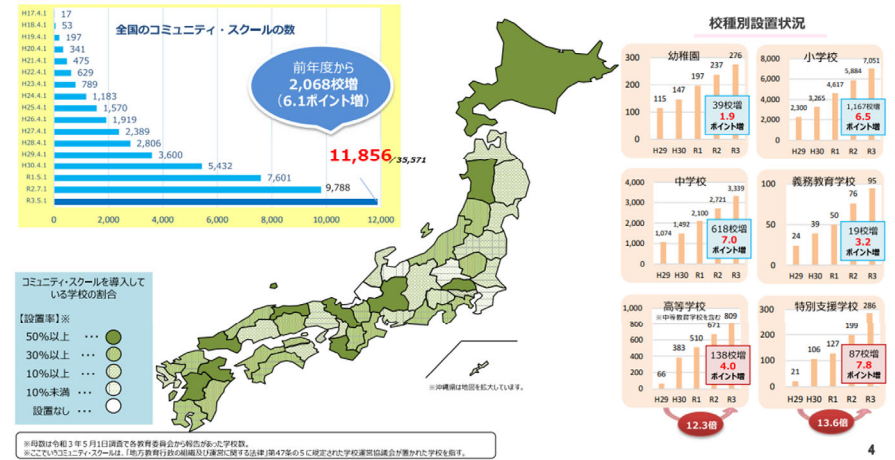
- ・学校と地域が情報を共有するようになった
- ・地域が学校に協力的になった
- ・特色ある学校づくりが進んだ
- ・子供の安全・安心な環境が確保された
- ・地域と連携した取組が組織的に行えるようになった

○学校運営協議会の協議に基づく意見により実現された具体的事項

- ・地域人材が活用されるようになった
- ・学校への必要な支援が講じられた
- ・学習指導の創意工夫が図られた
- ・生徒指導の創意工夫が図られた
- ・施設・設備の整備が図られた

全国の導入状況 (コミュニティ・スクール) -学校数-

学校運営協議会を設置している学校数: 46都道府県内 **11,856**校 (令和3年5月1日現在)
(幼稚園276、小学校7,051、中学校3,339、義務教育学校95、高等学校805、中等教育学校4、特別支援学校286)
全国の学校のうち、**33.3%**がコミュニティ・スクールを導入



コミュニティ・スクールの在り方等に関する検討会議
「コミュニティ・スクールの在り方等に関する検討会議 最終まとめ」(令和4年3月14日)

- 1 道徳教育の軸
- 2 指導体制の充実
- 3 家庭・地域との連携
- 4 校長のリーダーシップ

『中学校学習指導要領』第1章第1

4 各学校においては、生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、

- ・教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと
- ・教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと
- ・教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと

など

を通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくことに努めるものとする。

『中学校学習指導要領』第1章第6の1

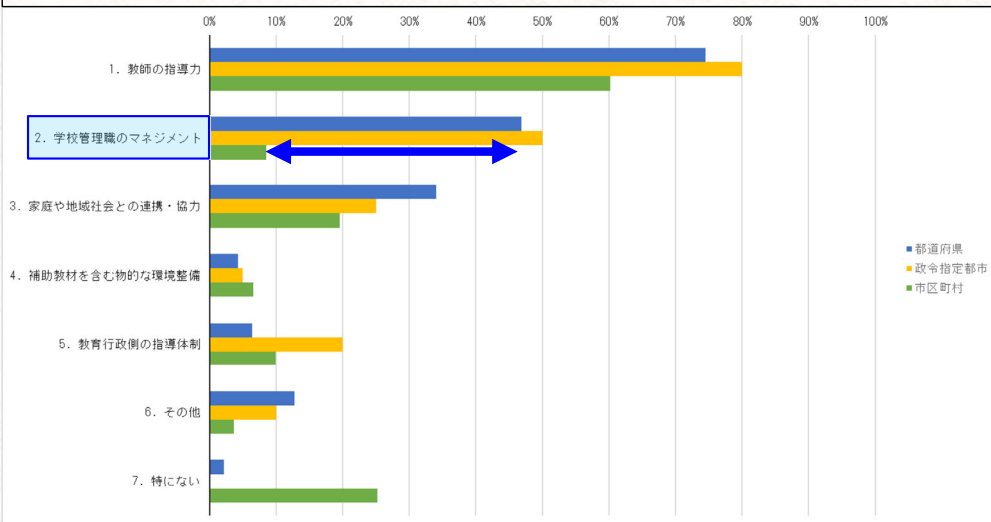
- 1 各学校においては、第1の2の(2)に示す道德教育の目標を踏まえ、道德教育の全体計画を作成し、校長の方針の下に、道德教育の推進を主に担当する教師（以下「道德教育推進教師」という。）を中心に、全教師が協力して道德教育を展開すること。

『解説 総則編』p.131～

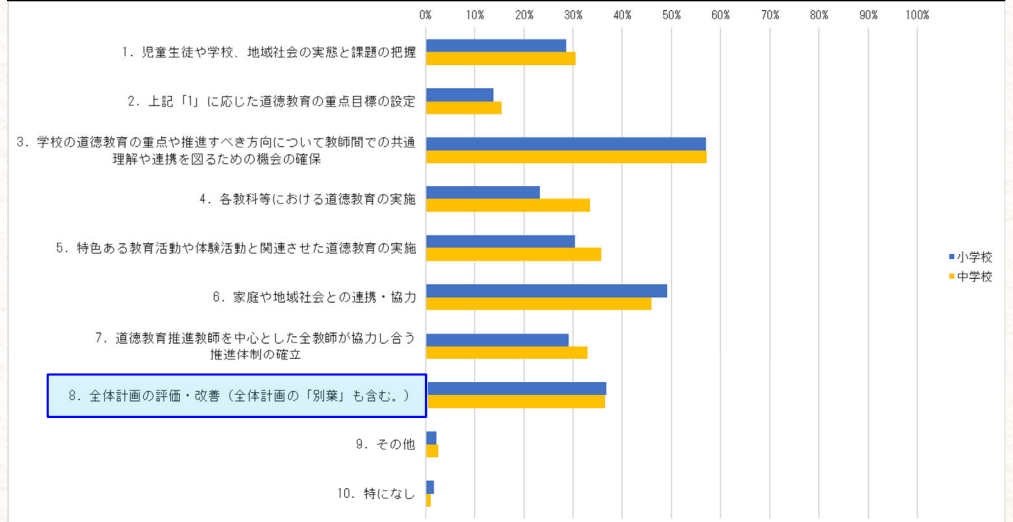
ア 校長の方針の明確化

道德教育は、「第1章総則」の第1の2（2）に示すように、学校の教育活動全体で行うものであり、**学校の教育課程の管理者である校長は**、その指導力を発揮し、学校の道德教育の基本的な方針を全教師に明確に示すことが必要である。

【設問2-①】道德教育のさらなる充実のために特に課題となっていること（複数回答）



【設問3】道德教育を推進する上での課題（複数回答可）



校長のリーダーシップ

☑ **道徳教育の全体計画が、生きて働く計画
となっているか？**

- 学校教育目標と道徳教育の重点目標の
整合性はとれているか？
- 重点内容項目が生かされているか？
- 年度途中での評価がなされているか？

校長のリーダーシップ

☑ **道徳教育推進教師が活躍できる体制と
となっているか？**

- なぜ、その先生を道徳教育推進教師に
したのか？
- 道徳教育推進教師のバックアップ体制
はとれているか？